

令和5年度岡山県農林水産総合センター 農業研究所 機関評価結果票

1 運営方針及び重点分野	非常に優れている 0人	優れている 4人	妥当 2人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
助言、指摘事項等 1. 「21おかやま農林水産プラン」に基づいて、儲かる産業としての農林水産業の確立のために、農業研究所として積極的に取り組んでおり、目指すべき明確な3つのビジョン「マーケティングの強化とブランディングの推進」のため、新品種育成や新技術等の開発に取り組んでいる。 2. 現場からの試験研究要望課題のうち、精査したものを最重点として、4つの重点分野をあげ、精力的に取り組んでいる点が評価できる。 3. 今後は、スマート農業技術の活用が益々重要となってくるため、この分野への一層の重点化を検討して頂きたい。 4. 農業従事者や市町村担当者などのニーズに十分応えている。一方で消費者目線の運営や研究をより充実させても良いのではないかと考える。 5. 掲げられた目指すべきビジョンおよび重点分野は適切である。岡山県の農産物の課題が解決されるような研究の推進を期待する。					
2 組織体制及び人員配置並びに 予算配分	非常に優れている 0人	優れている 4人	妥当 2人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
助言、指摘事項等 1. 総職員数が十分でない中、効率的に業務を進めるよう職員を適切に配置している。予算配分も、選択と集中により効率的に行っている。外部資金も積極的に取りに行っている。これらの点が評価できる。 2. 選択と集中により効率的に行っている。外部資金も積極的に取りに行っている。これらの点が評価できる。 3. 今後も、効率的かつ効果的な試験研究を行うため、人員確保と予算確保に努めていただきたい。 4. 研究水準をより一層向上させる観点からも、外部資金獲得の取組を期待したい。					
3 施設・設備等	非常に優れている 1人	優れている 2人	妥当 2人	見直しが必要 1人	全面的見直しが必要 0人
助言、指摘事項等 1. 一般財源が急激に減少しているため、文部科学省の補助金を有効に活用している。この補助金により、スマート農業に関する研究機器を重点的に整備している点は評価できる。 2. 備品設備にかかる一般財源が減少する中、文部科学省の補助金により高機能・高精密備品を整備するなど、研究環境の整備のための努力は非常に優れている。 3. スマート農業やIT活用などの政策が推進されており、農業研究所においても、生産現場のニーズに対応した施設・設備等の整備がすすめられるよう期待している。 4. 機器の老朽化がうかがえることから、更新や最新機器の導入などを考える時期に来ているのではないかと。					
4 研究成果	非常に優れている 1人	優れている 4人	妥当 1人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
助言、指摘事項等 1. 試験研究の成果を積極的に公表し、生産現場に迅速な普及に努めている点は評価できる。 2. 得られた知見を研究論文・学会発表として公表することは重要であり、その成果公表が年々増大している点も評価できる。 3. 農業研究所のビジョンに沿って実用的な研究成果が多く得られており、技術の普及状況も順調である。評価のための資料については、ビジョンに「儲かる産業としての農業の実現を目指す」とあることから、経済的効果を表す指標についてもご検討頂きたい。 4. ホームページ等を活用して研究成果を広く公表し、生産現場への迅速な普及に努めており、農家所得向上への貢献度は非常に高い。今後とも、研究成果の現場への普及を促進願いたい。					

5 技術相談・指導、普及業務、行政検査、 依頼試験、情報提供等所掌業務の実施状況	非常に優れている 2人	優れている 3人	妥当 1人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
助言、指摘事項等 1. 技術相談・指導については年間500件前後に対応し、普及業務についても農業普及指導センターと連携し、効果的な指導が行われている。また、多数の依頼試験に対応するなど、実施状況は、非常に優れている。 2. 技術相談は年々増大している点や、普及業務、依頼試験に対して、適切に対応している点は高く評価できる。 3. 非常に多くの診断要請や技術相談等に適切に対応できており、高く評価できる。今後とも、生産現場から信頼される対応を期待している。 4. 計画に沿って滞りなく業務が遂行されている。					
6 人材育成	非常に優れている 1人	優れている 2人	妥当 3人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
助言、指摘事項等 1. 試験研究の成果を継続的に得るためには、人材育成が最も重要である。コロナ禍の中、各種研修会参加数が増加していることは評価できる。 2. コロナ禍で対面での集会や移動が制限される中、リモート会議への出席や職場内での研鑽に努め、外部表彰4件、岡山県内の表彰制度3件を受賞するなど、非常に優れた人材育成を行っている。 3. 「岡山農研人材育成指針」に基づき、学会や研究会、研修会などへの参加を通じて、人材育成に鋭意努めている。 4. コロナの影響もあってか、学会や研究会、外部研修への参画が減少している。その点の改善をお願いしたい。					
7 他機関との連携	非常に優れている 1人	優れている 2人	妥当 3人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
助言、指摘事項等 1. 岡山県産学官包括連携協定を結ぶなど、他機関との連携を進めている点は評価できる。試験研究の成果を継続的にあげるため、もっと積極的に、共同研究を進めるよう提言する。 2. 民間企業や大学、また、農林水産総合センター内での連携により、外部資金の活用も含めて17件の共同研究を行っていることは、高く評価できる。 3. 岡山県の農業における主要な分野である畜産では、持続的な生産のために耕畜連携が推奨されていることから、今後は、より積極的な連携を検討して頂きたい。 4. 他機関との関係は視野拡大にもつながる。積極的に取り組んでいただきたい。					
8 県民・地域への貢献	非常に優れている 1人	優れている 4人	妥当 1人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
助言、指摘事項等 1. 県民・地域へ、広く開かれた農業研究所を目指して、多くの活動や情報発信に努めている点は評価できる。 2. 視察の受け入れや、報道、ホームページを通じた情報発信など、優れた活動を行っている。中高生、大学生を対象とした活動は、農業について広く知ってもらい、また、将来的に農業に関係した職業を選択してもらうことにつながるので今後も続けて頂きたい。 3. ホームページを上手に活用しており、過年度からのアクセス数の増加は大いに評価できる。今後さらなる情報発信の取り組み充実を期待している。 4. 直接的に県民が評価できる研究とは言えないかもしれないが、縁の下の力持ち的な存在であるのは間違いない。県民目線意識して研究に取り組んでいただきたい。 5. 「主な新技術の紹介」は、データベース化できると、より活用が進むように思う。					

9 前回指摘事項への対応	非常に優れている 0人	優れている 4人	妥当 2人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
助言、指摘事項等 1. 前回の指摘項目に対して、概ね的確に対応しているものと推察される。 2. 外部評価委員からの指摘に、真摯に対応している。					
総合評価	非常に優れている 0人	優れている 5人	妥当 1人	見直しが必要 0人	全面的見直しが必要 0人
1. 総合的に判断して、機関評価としては、優れていると判断できる。岡山県は、中四国一の農業県であり、岡山県で生産される農業生産物の評価は高い。この評価は、長年培ってきた先進技術の開発の積み重ねである。今後、岡山県の農業生産において、高品質な生産物を供出し続けるためには、生産者、消費者、市場などの要望に合致した試験研究が重要である。試験研究の成果を継続的に得るためには、予算確保、人員確保、人材育成、研究成果の発信が重要である。農業研究所が農業県岡山としてさらに発展するため、今後果たすべき役割は重要と考えられるので、これまで以上に精力的に試験研究に従事していただきたい。 2. 中国四国地域において農業産出額1位を誇る岡山県の農業を技術的に支える、優れた研究活動が行われている。限られた予算を有効活用し、外部資金の獲得も積極的に行われており、多数の研究成果の創出につながっている。今後は、持続的な農業の発展に向けて、データの有効活用を含めスマート農業の現場普及推進に向けた研究により積極的に取り組むことを期待する。 3. 県民の農業を支える重要な機関である。農業者のニーズに合わせた研究を続けることはもちろん、一般市民へのアピールにも尽力され、存在価値を高めてもらいたい。 4. 限られた予算と人員体制を効果的、効率的に運用しながら、今後とも、現行体制を縮小することなく、積極的な研究開発や優良種苗の供給、生産者への技術支援を継続実施してほしい。 5. 県の施策とともに、農業研究所の目指すべきビジョンを掲げ、限られた人員、予算の中で業務にあたっている。 6. 研究課題においては、出口を明確にし、現場からの試験研究要望課題や国、大学、企業との共同研究および受託研究、新技術につながるシーズ研究などの課題設定に努め、得られた研究成果は積極的に知的財産化し、迅速な普及を目指していることは非常に重要であり、評価できる。研究成果の公表や新技術の普及、技術相談および指導を含め、県民・地域への貢献についてはより一層力を入れて推進することを期待する。					

注意事項

各評価委員の評価内容を基に、重複する評価内容を取りまとめて記載する等、2～3枚程度でとりまとめてください。また、この資料は、HP で公表されるとともに、農林水産委員会等の資料として使用予定ですので、特定の個人を指す事例や特許取得等に支障がある内容は表現を改める等、個人情報の保護や知的財産権の取得等に支障がないよう、配慮してください。